



Vol.68
2023.

1

 **HAGIWARA**^{TIMES}

胆振海岸保全工事の内 白老人工リーフ建設工事 / 畑地帯(営農用水)河北地区62工区



●作業状況(12月9日時点)



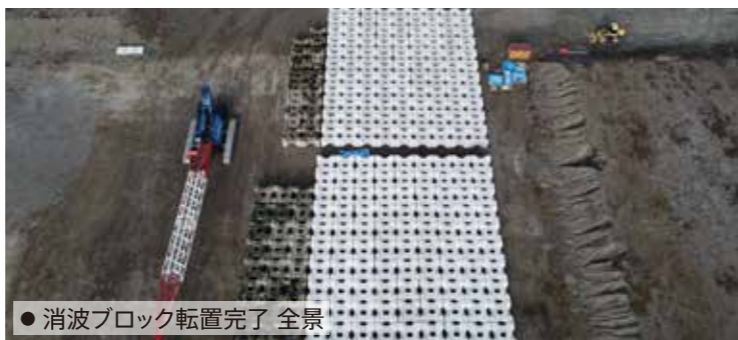
●施工状況 全景

胆振海岸保全工事の内 白老人工リーフ建設工事

畑地帯(営農用水)河北地区62工区



●消波ブロック コンクリート打設状況



●消波ブロック転置完了 全景



●アスファルトマット敷設状況



●捨石投入状況

- 工事名 : 胆振海岸保全工事の内 白老人工リーフ建設工事
- 発注者 : 北海道開発局 室蘭開発建設部
- 施工業者 : 萩原・菱中経常建設共同企業体

- 施工場所 : 北海道白老郡白老町
- 進捗率 : 49.4% (令和4年11月末時点)
- 施工期間 : 令和4年7月8日～令和5年3月17日

土木

日本という国は海岸線の延長距離が世界で第6位というほどに海に囲まれた島国です。そのため、海岸が浸食されると国土面積が小さくなり自国の海域が少なくなることにつながるため漁業や天然資源の確保にも影響が出てきます。それらを防ぐために本工事は、サンゴ礁の役割を模した人工建造物の『タンDEM型人工リーフ』を設置し、波の勢いを和らげ海浜の砂が海へ流出するのを防ぐ海岸浸食被害の防止を中心とした海岸保全工事です。

主な工事内容は、海岸保全と共にナマコや昆布などの水産資源にも配慮した消波ブロック(20t級既存型・改良型 N=209個)を製作し起重機船でそれらを用いて人工リーフを設置する工事です。陸上作業と海上作業のどちらもある災害リスクが高い工事となる為、積極的に情報化施工を使用して施工品質だけでなく生産性・安全性の向上を目指し、建設業としての社会的使命・役割を果たすとともに、持続可能な社会や白老町の地域住民の方々へ貢献していくために、日々現場従事者が一丸となって無事故・無災害で竣工を目指して頑張ります。

現場代理人・監理技術者:表 孝弘 / 主任技術者:柴田 京辰 / 担当技術者:平野 龍



●配水管路施工状況



●管路掘削状況



●推進工事施工状況



●橋梁添架施工状況

- 工事名 : 畑地帯(営農用水)河北地区62工区
- 発注者 : 十勝総合振興局
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社

- 施工場所 : 北海道河西郡芽室町
- 進捗率 : 77.0% (令和4年11月末時点)
- 施工期間 : 令和4年6月6日～令和5年3月10日

本工事は河西郡芽室町河北地区の畑地帯における営農用水施設の整備事業です。工事概要は管水路(硬質塩化ビニル管VWPφ150)4,746mとなっており、工事内容は土工、管水路工、道路付属施設工(曲点工・空気弁工・排泥弁工・分岐工・町道横断工・道道横断工・橋梁添架工・路面復旧工)、仮設工(立込簡易土留・ライナープレート土留)が主な工種となっています。7月中旬に試掘調査から始まり、12月中旬頃に管水路工が終わり、年内に主な作業は終わる予定です。道道帯広新得線、道道瓜幕芽室線と車の速度が出やすい道路上での工事であるため、引き続き安全に留意し施工します。

現場代理人・監理技術者:丹 通裕 / 現場担当者:長谷川 航



土木



世界最大規模の建設見本市“Bauma”



スイスの工事現場



建設技能者教育・研修センターMaurer(躯体工全般)



GHELMA社 資材保管庫

10月26日から7日間の日程で産官学からなるメンバーの一員としてドイツ・スイスの海外訪問視察に行ってきました。

ドイツでは、ミュンヘンで3年に一度開催される世界最大規模の建設機械見本市“Bauma(パウマ)”を訪れ、会場内で最大スペースの展示場を展開するLIEBHERR社(リープヘル社)を訪問し、LIEBHERRクレーンの歴史などをプレゼンして頂きました。

スイスでは、建設技能者教育・研修センターを訪れ、建設技能者を目指す方がどんな教育を受けるのかの説明を受け、日本との違いにカルチャーショックを受けました。スイスでは14歳で将来の職業選択が行われ、建設技能者は人気のある職業とされています。16歳、17歳で建設会社に就職(仮採用)した人は、この研修センターで970フラン(15万前後)の月給を貰いながら2~3年学び、連邦職業資格を受け企業に本採用されることで、5,500フラン(60~80万円)の月給が法律で約束されています。最終日にはスイスのGHELMA社(ゲルマ社)本社を訪問。資材保管庫は全ての資材がフォークリフトで運搬できるようにヨーロッパ規格のパレットに乗せられていました。その資材をパレットごと運搬車に積み、現場ではクレーンを用いて運搬することで人力作業を削減しています。ドイツ・スイスの建設現場は目隠し等が少なく、誰でも中が見えるようになっていました。安全面から考えると少し疑問に思えますが、ドイツやスイスの死亡事故発生率は日本より低いです。常に見られていることを意識し、現場従事者一人一人が安全に配慮して仕事に取り組むことで事故を未然に防いでいるのではないかと感じました。

私たちの仕事は“ものづくり”という観点から、施工中の私たちを見てもらう機会を増やすという意味においても有効なのではないかと感じました。



視察団とGHELMA社ドミニク社長

📷 今月の表紙

撮影: 萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

新年あけましておめでとうございます!令和5年最初の写真は音更町の家畜改良センター十勝牧場の馬追運動です。家畜改良センター十勝牧場は4回目の掲載です。馬追運動は例年1月中旬から2月末まで行われております。今年はいつからなるのかな?ちまたではウマ娘が流行っているようですが妊娠しているメス馬の難産防止や育成馬の強健な体づくりを目的として毎年行われております。大きなブルトン種・ベルシュロン種が雪を蹴散らし疾走する姿は大迫力です。寒さ対策をしっかりして巨大なウマ娘を見に行きましょう!



あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も社員一同“闘魂一途”という社是のもと常に旺盛なチャレンジ精神を持って、より一層の技術とサービスの向上を目指し、誠心誠意努力させていただき所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

 萩原建設工業株式会社

